

「多様な人材活用推進の基本方針」
策定

※裏面参照

(平成21年度)

女性研究者支援の事業

大学内のみならず、地域において女性研究者の活躍を目指します

全学的システム改革

1 支援のための環境整備

推進体制を整えるとともに、女性研究者への直接支援などを行っています。

●研究支援員の配置・在宅勤務支援

妊娠・出産・育児で時間の取れない女性研究者に対して、研究を補助する支援員を、センターから派遣します。また、在宅勤務の支援として、webカメラ付きパソコンの貸与を行っています。

●相談窓口

女性の研究者や職員、学生の困ったことや悩みの相談に対応しています。

●支援センター相談

研究者や研究者になろうとする女性で、研究を続けていく上で困ったこと、悩んでいることの相談に対応しています。

●女性の健康相談

心や体の悩みについて助産師が個別相談やミニ・セミナーを行っています。

●メンター制度

研究を続けていく上での色々な悩みを、先輩の研究者に相談できる仕組み作りをしています。

●保育施設の設置

平成23年度より学内保育施設「つばさ保育園」を開設しました。



●女性研究者のネットワーク構築

女性研究者同士がネットワークを構築できる環境を作ります。

●女性研究者懇話会



●女性研究者支援SNS

女性研究者を中心として、時間や場所に関係なく交流し、情報交換を行っています。

3 キャリアパスの構築と裾野拡大

女性が研究者として活躍するキャリアパスを構築すると共に、理系を志す女性の数を増やします。

●ロールモデル・セミナーやサイエンス・カフェの実施

ロールモデルとなる、社会で活躍する理系の女性研究者から話を伺うことで、多様なキャリアパスを考える機会を提供します。



●ロールモデル集の発行



●ロールモデル・バンクの構築

社会で活躍する理系の女性に登録していただき、後輩たちに、キャリアパスの構築やワークライフバランス実現のための情報を提供します。



ロールモデル集

●理系女子大学院生チーム「IRIS (アイリス)」による小・中・高校生を対象とした裾野拡大事業の実施



IRISのロゴマーク



IRIS任命式

●子どもサイエンス・キャンパス



子どもサイエンス・キャンパス

●オープンキャンパス「めざせ! 理系女子コーナー」



オープンキャンパス

●IRIS活動報告会の実施や活動報告集の発行 他



活動報告集

●「世界に翔け! 理系女子大学院生」表彰制度

理系女子大学院生を対象に、国際学会等で発表するための援助を行う表彰制度を行っています。



公開審査でのプレゼンテーション

2 全学的意識改革

女性研究者が研究を続けていくことへの理解を進めます。

●公開セミナーやシンポジウムの実施

●学域・学部・研究科のオリエンテーションや授業等での事業概要説明

●子育て応援ピンバッジ・シール・キャンペーンの実施

●「会議は17時まで」キャンペーンの実施



4 サポート基盤の整備

●全学的な連携・協力体制

事業を進めていくため、学内の各部局との連携・協力体制を強化します。

●大阪府・堺市など、地域との連携

公立大学であることを活かして、大阪府や堺市をはじめとして地域との連携を深めて、地域貢献を図っていきます。

波及効果

●全学的な改革による、理系女性研究者の研究水準の向上と、それを支える本学構成員の意識改革

●大阪府の施策の活用を通して、地域に貢献することによる女性研究者のロールモデルの普及

多様な人材活用推進

平成25年度以降も、継続的に推進していきます

プログラムの目的

理系女性研究者の増加

- 事業終了までの3年間で理系女性研究者数を平成21年度の30%増やす。
- 理系博士課程を修了する院生の女性比率を25%まで引き上げる。

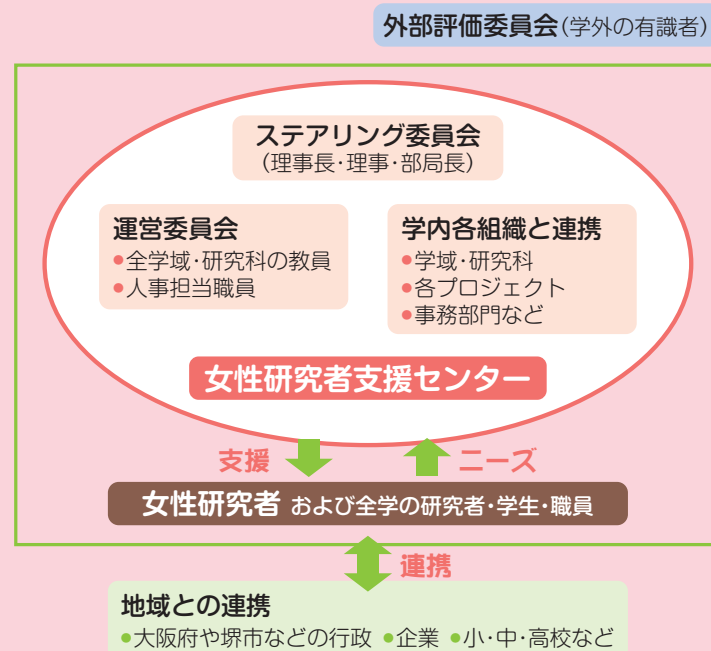
環境整備

- 相談窓口・メンター制度・保育室を開設する。
- 出産・育児等の問題に直面した理系女性研究者のために研究支援員を配置する。

地域貢献

- ロールモデル・バンクの構築と活用により地域に貢献する。

組織・実施体制



大阪府立大学における多様な人材活用推進の基本方針

大阪府立大学が公立大学としての存在意義を高め、地域に信頼される存在となるためには、地域社会や産業界を牽引する人材が本学から持続的に巣立ち、広く世界に翔く（はばたく）ことでその証を立てなければならない。それらを追求するため、日本のみならず世界の研究型大学の変革の起点となり、地域に信頼される知の拠点となるべき基本理念を表す言葉として、「高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点」を掲げている。

本学が目指す大学像の実現には「多様」「融合」「国際」という3つのキーワードがある。革新的な知を創出する拠点となるためには、年齢・性別・国籍の違いを超えて、異なる価値観や経験・背景をもつ「多様」な人材が集い、互いに知的触発を受ける環境が不可欠である。そのうえで多様な人材が切磋琢磨し価値を「融合」することで新しい知を創出し、そして「世界」に発信する。

したがって本学は、多様性の実現こそが今後の教育研究の活力の源泉であるとの認識の下、若手研究者や外国人研究者、女性研究者がそれぞれの能力を最大限に発揮できるよう、本学構成員の意識改革、環境の整備、支援相談システムの構築などを推進する。そして、活力あふれる「知」の創造の場を形成し、本学の理念を実現する。

公立大学法人 大阪府立大学 女性研究者支援センター

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
(中百舌鳥キャンパス B16棟)

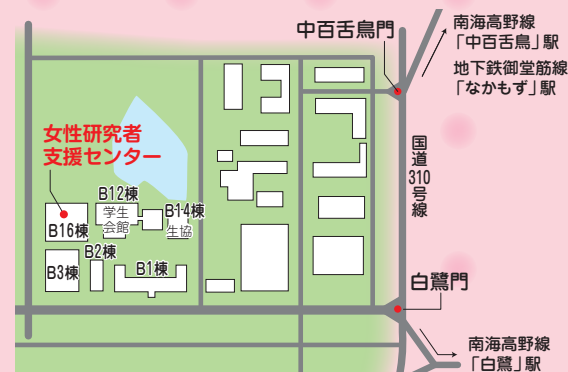
TEL・FAX (072) 254-9856

E-mail w-support@ao.osakafu-u.ac.jp

URL <http://www.opu-genki.jp/>

交通アクセス

- ・南海高野線「白鷺」駅下車、徒歩約10分
- ・地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車、徒歩約15分



元気！ 生き生き
女性研究者・公立大学モデル

大阪府立大学では、
平成22年度～24年度の3年間、
女性研究者・院生・学生のための
支援プログラムを実施しています。

公立大学法人 大阪府立大学
女性研究者支援センター